

授業科目	こども音楽療育演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH21417J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として聾学校および総合支援学校において音楽科を担当してきた経験を活かし、こども音楽療育の視点に立って、音楽の拡がりを生かして自己表現やコミュニケーションを促す音楽活動について学ぶ。障がいのあるこどもと豊かな人間関係を築いて、集団保育の中で、個を生かす音楽療育を実現する専門性を学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 療育的音楽活動(音・音楽を聴く活動、身体活動、楽器活動、歌・発声の活動)の具体的な方法を学び、障がいのあるこどもとの豊かな音楽体験を積み重ねる手立てを身につける。</p> <p>2 こどもの実態把握、個別目標の設定、音楽療育の評価を適切に行う。</p> <p>3 障がいのある子ども、そうでない子ども日常の保育の中で達成感の持てる音楽活動を体験できる教材、楽曲の取り扱いを工夫する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	70	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20	10			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10	50			60	
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1 療育的音楽活動の流れを進める中で、臨機応変にこどもの反応を感じ取り臨機応変に音楽で応じることができる。</p> <p>2 こどもの実態把握に音楽的な配慮を施し、集団と個人の両方の動きに応じた活動を考えることができる。</p> <p>3 既習曲に自分なりの工夫を加え、達成感の持てる見通しを持った音楽活動を実施することができる。</p>				<p>1療育的音楽活動について学び、活動の流れを組み立てることができる。</p> <p>2調査票を作成しこどもの実態把握をしたのち個別の目標に沿った活動を考えることができる。</p> <p>3既習曲を使ってこどもとの音楽的なやり取りをし、発達を援助する。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 音楽療育の構造について学ぶ。	講義	「こども音楽療育概論」の振り返りをする	30
2	テーマ:音楽による様々な技法 反響技法・対話・未解決技法・同質技法などを具体的な楽曲をとおして学ぶ。	演習	未解決技法の実際例を探す。 演奏してみる。	30
3	テーマ:音楽療育に用いる楽器 配慮のなされた楽器を実際に使って演奏を体験したり、障がいに関わり添った音の出し方を工夫したりする。 楽器演奏で可能になる感覚統合について学ぶ。	演習	簡単な身近にある打楽器を探す。	30
4	テーマ:音楽療育に用いる打楽器 打楽器に施された配慮とその使い方、楽器演奏の工夫、個と集団の両方で楽しめる楽曲の扱い方を学ぶ。	演習	トーンチャイムについて調べる。	30
5	テーマ:声 声の発達・音韻の発達・音楽療育における声の意味、歌唱、音楽を始める時の「歌いかけ」について知る。	演習	聴覚過敏について学習する。	30
6	テーマ:声・歌 声を使った音楽療育にふさわしい楽曲を知る。繰り返しのことば、コールアンドレスポンス、身近な生活の中の言葉を使った歌を身につける。	演習	季節ごとの言葉の繰り返しの多い楽曲を探す。	30
7	テーマ:即興と合奏① 表現を促しイメージをわかせる短い即興伴奏を学習する。具体的な生き物の動き、自然界の音を音楽で表現する。	演習	ピアノの音で生き物の動きを表現する。	30
8	テーマ:即興と合奏② 美しく集団で楽しめる簡単な合奏曲を学ぶ。自由に楽器を鳴らす場面を設定することを考慮した楽曲作りをする。	演習	ピアノを使って短いフレーズにハーモニーをつけて楽譜に表わす。	30
9	テーマ:セッションの組み方1 音楽療育的な始めと終わりを丁寧に組み立てる方法、その中での季節の歌の扱い方を学ぶ。	演習	特異な季節の歌を見つけ、身につける。	30
10	テーマ:セッションの組み方2 音楽療育にふさわしいリズム楽器による合奏曲について学ぶ。	演習	身近な廃材で持ちやすいシェイカーを作る。	30
11	テーマ:セッションの組み方3 自然界の音や人の気持ちを楽器で表し、短いお話と組み合わせる共感し合える活動場面を作る。	演習	学習した短いフレーズをピアノ伴奏を付けて弾く。	30
12	テーマ:音楽を絵本と一体化させた音楽療育 繰り返しの言葉からリズムを感じ取り、音韻にふさわしい簡単な旋律を考えて絵本とともに楽しむ世界を知る。	演習	繰り返しの言葉が印象的な絵本を声に出して何回も読み、言葉のリズムをリズム譜に表す。	30
13	テーマ:ミュージックパネルで音楽に親しむ療育 幼児に親しみやすい簡略化された図形や毎日の生活の中で目にするものを題材に、繰り返しの音楽を創作して提示するミュージックパネルについて学ぶ。	演習	幼児に親しみやすい題材を研究する	30
14	テーマ:特別支援教育におけるこども音楽療育 音楽療育に対する保護者の願いを理解する。その後、実際の音楽療育場面の録画映像を使って療育の流れを分析・精査する。	演習	録画の気づきをまとめる。	30

15	まとめ。	演習・講義	ノート整理。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	こども一人ひとりに寄り添った保育を実践し、こどもの育ちを促す音楽の力を生かして授業の内容を実際の保育の場面で生かせるように、自分の得意な音楽の分野を磨いてください。
テキスト	「ユニバーサルデザインの音楽表現」萌文書林
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「子どもの音楽療法ハンドブック」若尾裕・著 音楽之友社 「静かな森のおおきな木」春秋社
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	音楽をとおしてこどもとのやりとりを楽しみ、こどもの発達を促すことができる保育者が今求められています。多様な障がいを理解し、障がいに寄り添う保育を実践するために様々な音楽のジャンルに目を向け、障がいと音楽という視点に立って視野を広めてください。
達成度評価に関するコメント	達成度評価については授業の中で詳しく述べます。